

岡山県議会議員

秋山まさひろ

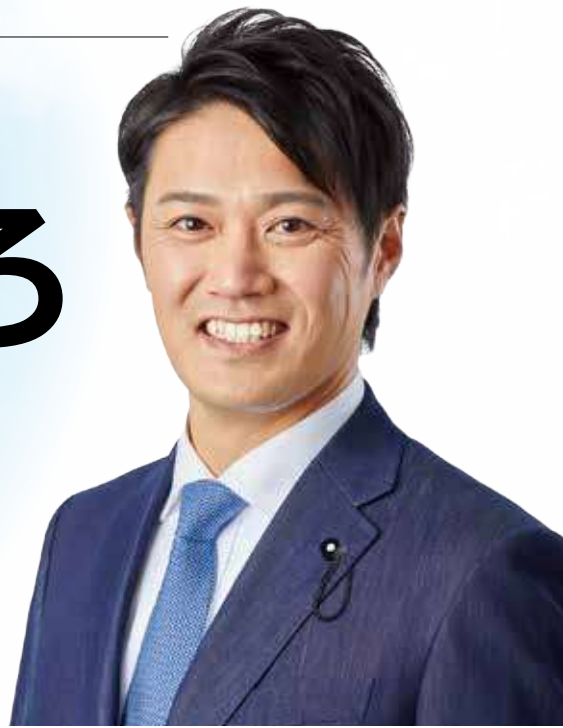
県議会だより



9月6日～10月4日

令和3年9月 岡山県議会定例会

事務所：〒712-8066 倉敷市水島高砂町1番7号 TEL：(086)448-8833 発行人：秋山 正浩



令和3年9月岡山県議会定例会が9月6日から10月4日までの29日間で開催されました。

今回の議会だよりにおきましては、私の所属する民主・県民クラブの代表質問の質問および答弁内容の要旨を一部ご紹介させていただきます。

財政状況等について

新型コロナウイルス感染症への対応等により、様々な事業へ補正予算が編成されており、県民の命と健康を守り、地域経済の維持、回復に向けた必要不可欠な事業と認識する。一方、財政調整基金の残高等を鑑みれば、これまでにない厳しい財政運営となることが想像できる。現在の財政状況と今後の見通しについて伺いたい。また、必要な財源の確保について、国に対し、どのように働き

かけているのか、併せて伺いたい。

【答弁】伊原本知事



財政状況等については、感染症の長期化により、税収の見通しが難しい中、社会保障関係費の累増や県債残高の高止まり、公共施設の老朽化への対応等により、厳しい状況が続くものと認識しております。また、これまでも、必要な財政措置を要望しているところであり、今後も全国知事会など様々な機会を捉え要望してまいります。

新型コロナウイルス感染症対策について

入院基準について、入院を重症患者や重症化リスクの高い人に重点化する一方、それ以外は自宅療養を基本とする方針を国は通知した。本県の入院基準について伺いたい。

【答弁】伊原本知事

本県においては、現在の感染状況を踏まえ、原則として、中等症以上を入院としているところであり、かつ、病床ひっ迫時には、命を救うことを最優先に考え、緊急避難的な措置として、国が示した入院基準に基づき、酸素投与が必要な重症患者や中等症患者等に、重点化することも想定しております。

重症化防止の取り組みについては、入院ができない患者に対しても、症状に応じて酸素投与、抗

体力クテル療法など、患者の重症化させない治療を行うべきと考える。他県では、酸素ステーションの設置や抗体クテル療法を宿泊療養施設で実施している。入院が困難な軽症者に適切な医療を施し、重症化を防止するための取り組みについて伺いたい。

【答弁】伊原本知事

宿泊療養施設や自宅での療養者の夜間急変に備え、8月23日から酸素投与等を行う一時療養待機所を再稼働させたところであり、また、8月27日からは、宿泊療養施設の療養者を対象として、抗体クテル療法を目的に、拠点病院へ短期入院した後、再び、宿泊療養施設で療養いただく取り組みを開始しているところであり、また、

妊婦の入院調整等について、どのような基準で運用をしているのか。ま

児童生徒への啓発等について、新規陽性者の中心は若年層に移り、高校でもクラスターが発生している。デルタ株の流行に伴い、これまでとは違う感染状況が明らかになっているが、学校現場で児童生徒への啓発を強化する必要があると考える。所見を伺いたい。また、県教委として、昨年

啓発等については、児童生徒への指導にあたる教員が、感染症対策について正しく認識する必要があることから、教員向け研修会の実施や、特にリスクの高い場面やその対策など、随時学校に周知し、児童生徒への指導に役立てております。また、危機意識を高めるための

にあたっては、学校や保護者が円滑に対応できるように、範囲や条件など、県教委としての基準を家庭にも示しており、市町村教委や各保健所とも情報共有したところであります。

静岡県熱海市で発生した土石流災害は、違法な盛土が発生の一因と言われ、あらためて対策の必要性が認識された。本県



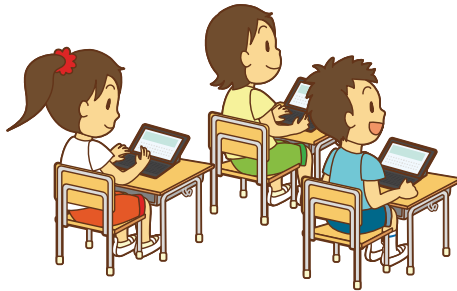
学校の体制整備について

新型コロナウイルス感染症のまん延により、GIGAスクール構想が急速に進んだことから、学校現場に無理が生じている。本来時間をかけて教員のスキルやリテラシーの向上を図らなければならぬが、支援員などのサポートやハード面での整備等、様々な課題があると承知している。県教委としては、事例紹介や市町村との情報共有に努めているが、市町村の実情を把握し、現状に合わせた効率的な対応ができるよう丁寧な助言を行うとともに、必要な支援について拡充していただきたい。国への要望も含め、所見を伺いたい。

【答弁】教育長

GIGAスクール構想について、県教委では、県全体で着実に進めてい

くため、市町村教委担当者との定期的な連携会議の開催、先進的な取り組みや課題への対応策の共有、県のGIGAスクール構想推進ディレクターによる市町村教委支援等を実施しております。また、機器整備や支援員等の配置など、学校のICT環境に係る財政措置の充実を国に要望しているところでもあります。



交通安全対策について

通学路に係る道路整備について、今年6月千葉県八街市で5人が負

傷し、うち2人の尊い命が失われるという非常に痛ましい事故が起きた。当該道路には歩道が設置されていなかった等、交通安全対策上の課題も浮き彫りになった。国は、ハード面では歩道やガードレールの設置等、ソフト面では速度規制や登下校時間帯に限った車両通行止め等の対策を進めるとしているが、本県における対応状況を伺いたい。

【答弁】伊原木知事

通学路に係る道路整備については、これまでも緊急合同点検を実施し、対策必要箇所は、ほぼ整備をしております。さらに、このたびの事故を受け、現在、市町村教委において危険箇所をとりまとめしており、完了次第、合同点検を行ったうえで、各関係機関が速やかに対策を実施することとしております。

県警察は、事故の危険性軽減のため地域住民等の意見を聞き、道路管理者と連携し、交通安全施設の点検整備を行っているが、同時に危険運転そのものを減少させる取り組みも必要と考える。通学路に係るソフト面の対応状況および、飲酒運転等「危険運転防止対策」の強化についての考えを、併せて伺いたい。

【答弁】檜垣警察本部長



千葉県八街市での事故を受け、通学路における危険箇所を警察および

道路管理者等が連携して、合同点検を実施しております。すでに、点検を終えた中では、信号機の整備等の対策進めている箇所もございます。この他、通学路を中心とする生活道路におきましては、可搬式速度違反自動取締装置を活用した速度違反取締りを強化し、登下校中の児童の安全確保に努めているところでもあります。また、7月からの2ヶ月間を、飲酒運転、無免許運転、30キロを超える速度違反を重点とした、悪質交通違反取締り強化期間に設定し、飲酒運転52件を含む、317件を検挙しております。

STOP飲酒運転県民運動により関係団体と連携して、飲酒運転根絶宣言店登録制度やハンドルキーパー制度を推進しております。引き続き、危険運転の防止対策に取り組んでまいります。

当店は

飲酒運転根絶宣言店

です

- 来店方法を確認します
- 運転する予定のある方には、酒類を提供しません

岡山県・岡山県警察

ハンドルキーパー運動推進中!

ハンドルキーパー運動とは

車で飲酒店に付いてお酒を飲むとき、飲み仲間や飲食店の協力によって飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が車を運転して仲間を安全に自宅まで送り届ける運動です。みなさんのご協力をお願いします。

知事提案説明要旨(抜粋)



新型コロナウイルス感染症関係について

令和3年9月6日時点における、感染状況・感染拡大防止・療養体制・ワクチン接種・事業者支援・雇用対策等について述べられましたが、刻々と状況は変わっていますので、ここでの報告は控えさせていただきます。この項最後に、伊原木知事より、「あらためまして、最前線に対応されている医療従事者など関係の皆様のご尽力と、県民の皆様、事業者の皆様のご感染拡大防止に向けたこ

れまでのご協力に深く感謝申し上げます。かけがえない命と健康を守り、安心して過ごせる日常生活と、活力のある社会経済活動を取り戻すため、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。」と述べられました。

教育・岡山山の復活について

GIGAスクール構想の推進については、現在、先行導入している県立高校3校において、専門家等の知見も踏まえ、効果的な活用の研究等に取り組んでおります。今後、こうした研究で得られた成果を県内の学校へ普及するとともに、ICT活用指導における基礎的技術に係る研修等を充実させることにより、教員のICT活用指導力向上に取り組んでまいります。

県立高等学校の魅力づ

くりについては、高校の存在意義や期待される社会的役割等であるスクール・ミッションの再定義を行うため、高校が立地する市町村等との丁寧な意見交換を行うこととしており、各高校の生徒、関係者の意向や期待、地域の実情を踏まえ、将来の地域像等も見据えながら再定義を行い、高校の魅力化につなげてまいります。

地域を支える産業の振興について

企業の「稼ぐ力」の強化については、今年度、相談体制を強化した県中小企業支援センターにおいて、ポストコロナを見据え新たな取り組み等を検討している事業者からのニーズに対応し、専門家派遣による支援を拡充することとしており、中小企業の持続的な成長・

発展につなげてまいります。

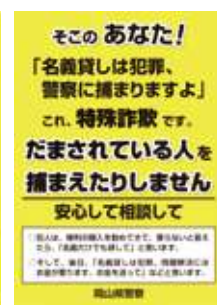
働き方改革について

は、コロナ禍において拡大したテレワーク等の多様な働き方の定着に向け、セミナーの開催や専門家派遣により県内企業の取り組みを支援しているところであり、ウイズコロナ・ポストコロナの新しい働き方について考えるフォーラムを11月に開催し、さらなる気運の醸成を図ってまいります。

安心で豊かさが実感できる地域の創造について

暮らしの安全対策については、今年上半年の刑法犯認知件数が、前年と比べ約12%減少しており、県民総ぐるみによる各種犯罪抑止対策を推進した成果が表れているものと考えております。一方で、特殊詐欺については、被害額は前年に比べ

約65%減少しているものの、認知件数は増加傾向にあり、依然として被害が後を絶たないことから、引き続き、「だまされのじゃ岡山県・県民運動」を強力に展開し、被害の未然防止に向けた取り組みを推進してまいります。



交通安全対策については、今年上半年の交通事故死者数は26人と、記録が残る昭和35年以降最少となっており。また、鬼退治ボックスを活用して、妨害運転をはじめとする悪質・危険な違反等を22件検挙しており

ます。一方で、人身事故件数及び重症者数は前年に比べ約2割増加しており、引き続き、効果的な広報活動や交通指導取締りを実施し、すべての道路管理者の交通安全意識の向上を図り、県民を交通事故の当事者にさせないための対策を推進してまいります。

※その他の内容等については、岡山県議会ホームページ内にある、議会映像配信をご覧ください。

●岡山県議会ホームページ

<https://www.pref.okayama.jp/site/gikai/>



●議会映像配信(ライブ中継・録画中継)

<https://www.okayama-pref.stream.jfit.co.jp/>

